

The Dragon and The Phoenix —A History of Chinese Textiles—



# 龍りゅうと鳳ほう凰おう

## 中国染織の流れ

2008  
3.9 SUN — 6.1 SUN

10:00 — 17:00 (入館は閉館の30分前まで)  
休館日/火曜日 (祝日の場合は開館します)

※7/1 (火) は開館いたします。  
※6/2 (月)・3 (火) および7/7 (月)～12 (土) は展示替えの為休館いたします。

入館料/一般1,000円/高・大学生700円  
小・中学生500円 (土日は無料)  
70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引  
障害者手帳をお持ちの方は無料、介護の方1名まで500円  
※「薬師寺大唐西域壁画・大下図」展もご入館いただけます。

■主な展示品  
「龍と鳳凰—中国染織の流れ—」  
・花鳥幾何学文様錦製 前5-3世紀(戦国時代・中国)  
・貴地大唐花文様錦製 8世紀(唐時代・中国)  
・鳳凰花文様絨製 12世紀(北宋時代・中国)  
・雲龍文上着 18-19世紀(清時代・チベット)

■講演会のお知らせ  
期間中の土曜日・午後6時から 講師: 道明三保子 (文化女子大学教授)  
会場: 平山郁夫シルクロード美術館 本館 参加費: 無料  
●参加ご希望の方は、電話、FAXにて当館までお申し込み下さい。  
詳細は当館HPにてご覧ください。

龍袍 19世紀初(清時代) 織錦袍 8世紀(唐時代) 女性上衣 20世紀(貴州・苗族)

中国は、養蚕と絹の発祥の国としてシルクロードの出発点の地となり、今日もお繭と生糸の世界最大の生産国です。その中国の染織の歴史を概観します。戦国時代の楚の墓から出土した精妙な絹織物、シルクロードの交流が盛んで長安の都が国際都市として栄えた唐時代の染織、これまであまり知られることの少なかった宋元の綴れや刺繍、龍袍をはじめとする明清の宮廷衣装などを紹介します。とくに文様の分野に焦点をあて、中国の代表的文様である龍と鳳凰を取り上げ、各時代の中国の染織にどのように表現されてきたか、中国の造形感覚の特質を探ります。

※期間中一部展示替があります。※6/4(水)からはシルクロードコレクション平常展を行います。

- 主催 (財)平山郁夫シルクロード美術館 山梨日日新聞社・山梨放送・信濃毎日新聞社 締興社
- 後援 山梨県 山梨県教育委員会 北杜市 韮崎市 南アルプス市 甲斐市 NHK甲府放送局 テレビ山梨 エフエム富士 エフエム八ヶ岳 平山郁夫美術館
- 協賛 キリンビール ANA

甲斐小泉駅 駅前すぐ 小淵沢インターより車で10分



〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6  
TEL:0551-32-0225 FAX:0551-32-0226

鎌倉事務局: 〒248-0002 神奈川県鎌倉市二階堂120-15  
TEL:0467-25-0251 FAX:0467-61-3435

<http://www.silkroad-museum.jp>